

1 どういう性格・パーソナリティか

型	性格の側面	弱	強	指数
思索型	内閉性：孤独な面があり内省するタイプ			51
	客観性：思慮深く冷静に判断するタイプ			61
活動型	身体性：活動的で機敏に動き回るタイプ			52
	気分性：気分で行動に変化があるタイプ			41
努力型	持続性：何事も粘り強くやり通すタイプ			51
	規則性：規則等を重視し行動するタイプ			63
積極型	競争性：競争心が強く積極的に動く傾向			52
	自尊心：自らのプライドを尊重する傾向			45
自制型	慎重性：慎重に見通しをつけて動く傾向			54
	弱気さ：考えすぎて遠慮がちになる傾向			36

■この人の中心性格は「努力・規則性」および「思索・客観性」であるが、「自制・慎重性」や「活動・身体性」といった側面も本人は意識している。

●「努力・規則性」及び「思索・客観性」の人のパーソナリティスケッチ
 努力家で几帳面なタイプです。手がけたことを途中で放り出すことなく、長続きさせることができ、生活態度にも規則正しさが感じられます。何事も理論正しく、筋道の通ったものでなければというきまじめさがあり、世間のきまりや常識を大切にしようとします。そのため、堅物との印象を持っている人がいそうです。形式的なことにとらわれがちで、柔軟さや斬新さに欠けるきらいがありますが、大きな失敗をしないという点では評価できます。とはいうものの、日常に必要な社会性は持ち備えていて、交友関係もおそろにしません。情報を集めるアンテナもしっかり持っていますから、一人孤立するということはありません。どちらかという、体を動かして物事を解決するというより、自分なりによく考えてから実行に移すほうで、大きな理想に振り回されず、現実的です。また、物事の見方は客観的で、比較的冷静です。自分自身を深く内省していて、深い付き合いの友人には、その豊かな内面性を見せていることでしょう。

●もう一方の性格特性
 精神的に安定しているほうで、不安だとか劣等感といったものとは縁がありません。対人関係においても、オドオドしたり、イライラしたりすることはなく、行動や発言にはしかるべき自分なりの理由があるようです。暗い陰のようなものではなく、明るく、積極的な人物です。

<この帳票の見方>

自己分析シートでは、性格、社会性、意欲の側面から診断しています。
 まず1ページ目では、あなたの中心性格を示し、次に日常生活場面での行動傾向を述べています。また、あなたの強み・弱みの把握ができるよう、具体的なアドバイスも記述されています。心理イメージに描かれている顔のイラストは、顔と人間の性格についてよく言われる言い回しをもとにあなたのモニターージュを作成しました。外見の顔ではなく、心の顔を絵で写し出そうとしたものです。
 2ページ目では、具体的な職場場面での対応力、自己評価と行動予測をグラフで示しています。対応力や行動予測は、1ページ目の診断結果より、あなたの行動傾向を予測したものです。
 あなたが思う本当の自分とのズレを感じる部分もあるかと思いますが、この診断結果によって、自分を見つめ直し、自己理解を深める機会ととらえて下さい。さらなる向上を目指すには、まず自分自身を知ることが大切です。自分を知り、さらなる向上を目指す手だてとして、ご活用下さい。

2 一般的な場面での社会性

社会性の側面	弱	強	指数
積極性・活発度			62
周囲との協調性			54
責任感・一貫性			55
自分への信頼度			61
指導・指示傾向			59
仲間との共感性			44
感情の安定度合			65
他者への従順性			51
自ら進んで実行			49
社会的自我確立			60

●「感情の安定度合」について
 感情の安定度合とは、日常を含む精神面での落ち着きや、物事の処理、時間配分に対処する場合の感情リズムを表し、その時、場面での自己の波長がどの程度安定しているかを示しています。この傾向が高い場合は、
 ▼他人の感情の変化に無頓着であったり、落ち着きすぎるために周囲から不思議に思われることがある
 ▼比較的、感情が一定であるため、他人には無関心だと映ることもある
 といったことが考えられます。自分のリズムで生活や仕事を行うことは悪くありませんが、集団の中で状況に変化が起きた場合は、仲間と一緒に物事に対処する方策を検討したり、考えてみることも少しは必要です。

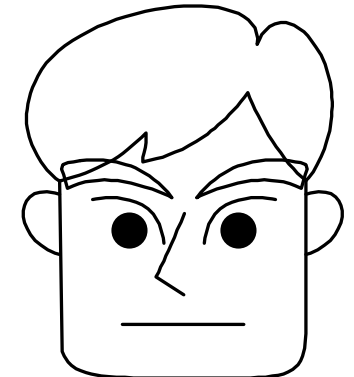
●「積極性・活発度」について
 積極性・活発度とは、他人から指示を受けてからではなく、自らが率先して物事に取り組もうとする姿勢のことです。これは業務への前向きな行動、率先的な意見の提案力として表に出ます。この傾向が強い場合は、
 ▼ひとりで先走ってしまうことがあり、時に周囲とのすれ違いなどを感じてしまう
 ▼一度、決心すると人の意見などはあまり参考にせず、自分の考えだけで実行に移してしまう
 といった行動になりがちですので、自己を再確認してみましょう。自らの考えや判断だけで行動するのではなく周囲の状況や様子を見渡すように心がけ、おかれている立場を理解すれば積極的な側面がいきます。

3 心理イメージ

■心理イメージをイラストであらわすと

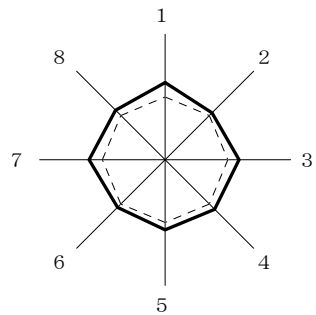
がんばり屋の性格 → 角張った顔
 他人の忠告を適度に聞き入れる → まっすぐな眉
 周囲を引っ張っていく → 太い眉
 ヤル気あふれている → 大きな瞳
 新しいことをとりいれたい → 目尻が上がっている
 目立ちたがり屋ではない → 普通の鼻
 人との関係にこだわらない → まっすぐな口

となり、右のような顔ができあがります。



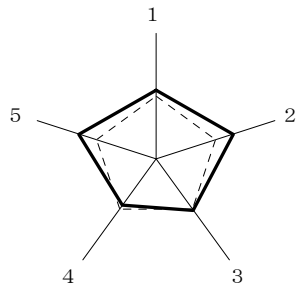
4 仕事場面での対応力

■何事にも積極的な姿勢で取り組む傾向



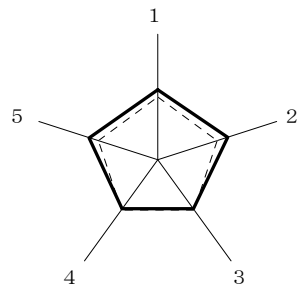
どんなときにも積極的に仕事に取り組もうとしている様子がうかがえます。仕事に対する興味、役割認識などもできているようで、自信を持っておこなっていることと思われます。時間配分や目的達成への計画などにも気を配り、さらに実力を発揮していくよう、今後のますますの健闘を期待します。

■ねばり強く最後までやろうとする傾向



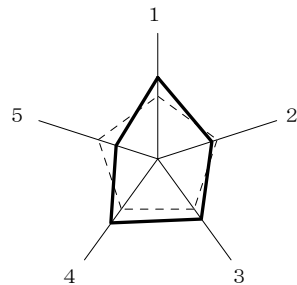
責任感が強く、やると決めたことは最後まで面倒を見るといった姿勢がうかがえます。周囲の出来事に振り回されることもなく、目的を見失うことはありません。精神面での強さが感じられますので、役割や業務に対する認識を強めていくことで、周囲からも頼りにされる存在となっていくことと思われます。

■人に頼らず自分の力で成し遂げる傾向



自分の目指すものははっきりと定まっていて、努力して未来を築いていこうとする感じが感じられます。どちらかというと実力主義で、周囲に流されることを嫌うようです。自分らしい発想ややり方が大切なため、ときには周囲とのズレを感じることもあるかもしれませんが、組織の新しい力となることが期待できます。

■強い意志を持ち前に進もうとする傾向

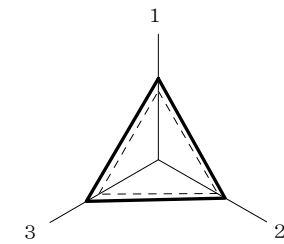


たとえトラブルが生じて、落ち着いて処理できるようです。一度決めたことは迷わずに突き進んでいこうとします。ときには軽はずみな行動があるかもしれませんが、そんなときでも事後の的確な対処をすることができるでしょう。周囲との協力関係を強化することで、より信頼される存在となれるでしょう。

————— : あなたの得点
----- : 基準(50点)

5 自己評価

■自己評価と行動予測の比較



————— : 自己評価
----- : 行動予測

■ヤル気の出出度について

積極的に仕事を進める能力があり、自分でも自信を持って取り組んでいる様子がうかがえます。どんなことでも、自分で自分をきちんと評価していなければ、本来の力は発揮できません。あなたの行動の結果は、周囲も評価していることと思われます。目的を見失わず、ますます前進していくことを期待します。ただし、周囲とのバランスには注意したほうがよさそうです。自分の求められている役割や仕事内容について再確認し、一人の考えで突っ走ってしまうことのないように気をつけて下さい。

■管理・対人能力について

周りとの関係、特に部下を引っ張っていくことができ、自分でも自信を持って行動しているようです。リーダーとしての役割を發揮する上では、自分の力を信じていることが重要です。的確な判断力、いざというときに動揺しない精神力など、必要な要素は様々ですが、やはり自分自身を評価していなくては、実際の行動が伴わなくなります。ただ、専門的な知識や技術力がなくては、説得力のあるリーダーがつかまりませんから、日々の自己鍛錬は必要不可欠です。ますますの活躍が期待できます。

■思考能力の発揮について

スキル面での自信があり、また新しい企画なども進んで発表していくことができるようです。職場に必要な人物として、高く評価されていることでしょう。自分らしい視点を外部に伝えていき、組織全体の活性につながっています。専門的な知識や洞察力など現在持っている能力は維持するだけでなく、さらに伸ばしていけば、周囲からの信頼もますます高まります。これらは自分の中だけにおさめているのではなく、他のメンバーにも伝えていくことが必要となります。リーダーとしての活躍を期待します。